第２学年英語科学習指導案

１．単元名　「比較表現を使ったクイズを作ることができる。」

　　　　　　(Sunshine English Course 2 PROGRAM10 So Many Countries, So Many Customs.)

２．単元の目標

（１）既習表現を用いて、自分や身のまわりのことを表現したり、相手に尋ねたりすることができる。

　【外国語表現の能力】

（２）新出の言語材料を用いて、ペア、グループでの言語活動に積極的に取り組もうとしている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

（３）more, the mostを使った比較の文、およびbetter, the bestを使った比較の文の構造を理解している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【言語や文化についての知識・理解】

３．単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ア  コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ  外国語表現の能力 | ウ  外国語理解の能力 | エ  言語や文化についての  知識・理解 |
| ①新出の言語材料を用いて、ペア、グループでの言語活動に積極的に取り組もうとしている。 | ①自分や身のまわりのことを表現したり、相手に尋ねたりすることができる。 |  | ①more, the mostを使った比較の文、およびbetter, the bestを使った比較の文の構造を理解している。 |

４．単元設定の理由

　本単元では、Section1,2でマイクと桃子がそれぞれのホームステイで体験したことを話し合い、Section3では、マイクと桃子が日本語の理解の難しさと発想による誤りの例を話している。ことば、文化そして習慣の違いについて考えられる単元となっている。ホームステイでの異文化体験と言語の特性の違いについては、生徒の興味・関心を高める話題である。言語材料としては特殊な比較表現 more,most，better, bestを扱う。Program9でも比較級、最上級、同等比較を扱っている。比較表現を習得することにより、比べる言い方ができるようになるだけでなく、例えば何かを選択する場面で、選んだ理由について比較表現を使って述べることができるなど表現の幅が広がってくる。

本学級の生徒の多くは、基本的な授業規律や学習に向かう姿勢が身についている。ペアやグループ活動の際には、明るく協力して取り組もうとする姿が見られる。また、ＡＬＴとの授業を楽しみにしており、ＡＬＴの話している内容がわかったり、自分が言ったことが伝わったりすることに喜びや達成感を感じている生徒もいる。一方で、「単語が覚えられない、書けない」「英文や単語を音読するのが苦手」「勉強をしても思うような点数が取れない」等の理由から、苦手意識を持っている生徒も少なくない。さらに、基本的な文法事項や単語の理解が不十分なため、新出語句や文法を提示してもなかなか定着できない現状がある。２学期から単語や英文を書く活動を家庭学習として取り入れたり、帯活動で新出語句や文法を繰り返し練習したりして定着を心がけている。

Program9、10の２単元を通して、比較表現を学習する。形容詞を比較級、最上級にするための語尾変化や

more, most, better, bestなどを使う特殊な形があり、戸惑いを感じる生徒がいると思われる。そこで、それらを使った代表的な文に何度も触れ、慣れさせていく。さらに、新出文型が意味あるものとして実感させるために、身近な事柄を表現し、それを仲間に伝える活動を設定する。本時では、３つの物を好きな順番に並べ、それをbetter, bestを用いて仲間に説明をする活動をする。活動をする中で繰り返しbetter, bestを用いた文を使用することで定着をさせていきたい。本単元の最後には、ペアでクイズを作り、出題させる形式をとる。自分たちの考えを相手に伝え、相手の意図する事を理解して答える活動をしていく。仲間と協力しながら、相手に伝える活動を行うことで、表現することや話すことの楽しさに気づかせたい。

５．単元の指導計画と評価計画（７時間扱い）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ◎ねらい・○学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
| 1 | ◎Program9で学習した比較級、最上級の文と対応させて、moreとmost  を含む文構造を理解し、使用することができる。  〇the mostを用いた疑問文を作り、それらを用いて質問したり、答えたりする。 | イ①  エ① | ワークシート |
| ２ | ◎教科書Program10(Section1)の内容を理解することができる。  〇ホームステイ体験を通して日本とオーストラリアの文化や習慣などの違いについて読み取り、日本語でまとめる。 |  |  |
| ３  本時 | ◎betterとbestを含む文構造を理解し、使用することができる。  ○好きなものを３つ選ばせて、「一番好きなもの」等、betterとbest  を用いて、仲間に伝えることができる。 | エ① | ワークシート  振り返りシート |
| ４ | ◎教科書Program10(Section２)の内容を理解することができる。  〇マイクの日本でのホームステイ体験を読み取り、その内容に関する質問に答える。 |  |  |
| ５ | ◎教科書Program10(Section3)の内容を理解することができる。  〇マイクと桃子が話したことばと文化の違いについて、日本語でまとめる。 |  |  |
| ６ | 〇Program10での新出語句や言語材料について振り返り、定着することができる。  ・新出語句を用いて、Bingoに取り組む。  ・Joyful Workに取り組む | エ① | ワークシート |
| ７ | ◎Program9で学習した比較級・最上級・同等比較の文やmore, the most、およびbetter, the bestを使ってクイズを作ることができる。  〇ペアで、Program9、10で学習した言語材料を用いてクイズを作成し、班そして全体へと発表をする。 | ア①  イ① | ワークシート  活動の観察 |

６．本時案（７時間扱いの３時間目）

（１）題材名：好きなものを比較しながら仲間に説明しよう。

（２）主　眼：比較表現（better, the best）を自分で決めたテーマにそって３つのものを比較する文を作り、ペア活動で紹介し合うことを通して、理解することができる。

（３）展　開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 時間 | 指導（○）及び支援（・） | 評価（※）備考 |
| １．Greeting and Warm-up  （１）あいさつをする。  （２）ペアで比較級・最上級・同等比較の文の復習をする。  ２．Main Activity  （１）本時のめあてを確認して、betterとbestを用いた表現を知り、  　　betterとbestを用いた英文を口頭練習する。  （２）betterとbestを用いて活動をする。  ・テーマを決め、その  　　テーマから３つ選び  　　好きな順番が伝わる  　　ようにbetterとbest  　　を用いて英文を書く。  　・書いた英文を音読練習  　　をする。  　・ペアで紹介し合う。  ３．Reflection  ・本時の学習を振り返る。 | ５  ４０  ５ | ○ペアになり、一方が絵を見ながら、比較級・最上級・同等比較の文を言わせる。もう一方は、時間内にいくつ文を言えるかを数えさせる。  〇テンポよくすすめ、学ぶ雰囲気をつくる。  **好きなものを比較しながら、説明することができる。**  〇本時のめあてを知らせ、授業のゴールの姿をイ  　メージさせる。  〇写真を見せて、betterとbestを用いた文を  紹介をし、説明をする。  I like *udon* better than *soba.*  I like *ramen* the best of the three.  ○betterとbestを用いた英文をいくつか口頭練習させ、次の活動につなげさせる。  〇テーマを考えさせ、そのテーマから３つ選ばせ、好きな順番が分かるようにbetterとbestを用いて英文を書かせる。  （例）Theme( color )  red ＞ blue ＞ green  I like red better than blue.  I like blue better than green.  I like red the best of the three.  ※考えがまとまらない生徒にアドバイスをしたり  読み方の支援をしたりする。  〇英文が出来上がったら、音読練習をさせる。  ○ペアになって紹介をさせる。ペアを次々とかえて紹介をさせる。全体の前で数名の生徒に発表させる。  〇本時の活動について、振り返りシートを記入させる。 | ・ペア活動  ・カード  ※エ①  ・本単元で学習したbetterとbestを用いて、適する英文を書いている。  ・ワークシート  ・振り返りシート |

７．板書計画

　　　Monday January twenty-ninth Sunny

　　 Aim **好きなものを比較しながら、説明することができる。**

**絵　　　 >　　 絵　　　 >　　 絵**

主語＋like A better than B.

（主語）は、ＢよりＡのほうが好きです。

　　　　　　　　　　　私は，そばよりうどんのほうが好きです。

　　　　　　　　　　 I like *udon* better than *soba*.

Today’s lesson

1.Warm-up

2.Presentation of

New Material

3.Activity

4.Reflection

主語＋like A the best + in (of) ~.

（主語）は、～の中でＡがもっとも好きです。

私は，３つの中でラーメンがもっとも好きです。

I like *ramen* the best of the three.

【TV画面】

Theme 【　color　】

１．テーマ(Theme)を考える。

２．テーマの中から３つの物を選び、好きな順に左から並べる。

３．並べた順が分かるように、better,bestを用いて英語で説明をする３つの文を書く。

I like red better than blue.

I like blue better than green.

I like red the best of the three.